

「2020年版 建築物の構造関係技術基準解説書」 講習会(ウェブ講習会)のご案内

主催：一般財団法人建築行政情報センター、一般財団法人日本建築防災協会

「2015年版建築物の構造関係技術基準解説書」は発行後5年が経過し、その間、構造関係規定の制定・改訂等を反映した追補版の公表などを行ってきましたが、このたび、「2020年版建築物の構造関係技術基準解説書」を発行することとなりました。この間の経緯及び改訂の内容は、以下に示すとおりです。

本解説書の発行に伴い、改訂内容を中心に、編集委員が解説する講習会を開催いたします。

建築構造設計実務に携わる方はもとより、確認検査や構造計算適合性判定業務に携わる方々には是非ご受講されますようご案内申し上げます。

「2020年版 建築物の構造関係技術基準解説書」改訂までの経緯と内容

「2015年版 建築物の構造関係技術基準解説書」は2015年6月に刊行されましたが、その後、「2016年追補」のWeb公表(2017年2月)と、それを反映した第3刷・第4刷の発行(同7月・10月)が行われ、2018年9月には、「2018年追補」がWebで公表されました。

今般発行される「2020年版 建築物の構造関係技術基準解説書」は、2015年版第4刷に対し、新たに以下の項目を収録したものとなっています(一部の内容は「2018年追補」に含まれています)。

- (1)2015年版(初刷)以降の質疑(Q&A)の反映
- (2)2015年版第4刷以降の基準改正や技術的知見の反映(伝統木造に関する基準の合理化、小規模建築物・仮設建築物の一部規定の緩和、新たな材料に関する規定の追加、構造計算に関する規定の追加、既存建築物物に対する構造関係規定の適用の見直し など)
- (3)各種災害を踏まえた状況と対応に関する記述の追加
- (4)その他、条文や参考文献の更新、記述の整理・明確化など

1. 開催日時(映像配信期間)

令和2年11月2日(月)～11月20日(金)

ウェブ研修(オンデマンド形式:受講者が配信期間内の任意の日時に視聴できる方式)で行います。

2. 講習科目・講師

1	これまでの経緯・改訂方針等	小山 信(国立研究開発法人建築研究所構造研究グループ長)
2	R C造関係の改訂内容	向井 智久(国立研究開発法人建築研究所構造研究グループ主任研究員)
3	S造関係の改訂内容	石原 直(国土交通省国土技術政策総合研究所建築研究部評価システム研究室長)
4	木造関係の改訂内容	槌本 敬大(国立研究開発法人建築研究所材料研究グループ上席研究員)
5	その他の改訂内容	井上 波彦(国土交通省国土技術政策総合研究所建築研究部建築品質研究官)

※ 講師等の都合により変更となる場合があります。

※ 所要時間は全体で概ね190分程度の予定です。上記「1.」の期間内に、各講義を任意の順番で受講していただけます。

3. 書籍つき受講料 14,300円(税込)(受講料5,500円、書籍代(受講者特価)8,800円)

テキストとして使用する書籍:「2020年版建築物の構造関係技術基準解説書」(定価9,900円(税込))

監修 国土交通省国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人建築研究所

編集協力 国土交通省住宅局建築指導課、日本建築行政会議、一般社団法人日本建築構造技術者協会

編集 一般財団法人建築行政情報センター、一般財団法人日本建築防災協会

※ テキストの一般販売は、11月9日開始予定です。

4. 申込期間 令和2年9月29日(火)～11月6日(金)

5. 申込先 次の(一財)建築行政情報センター ホームページよりお申込み下さい。

https://www2.icba.or.jp/products/list.php?category_id=9

6. 後援先

国土交通省、国土交通省国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人建築研究所、日本建築行政会議、(一社)日本建築構造技術者協会、(一社)日本建築士事務所協会連合会、(一社)日本建設業連合会、(公社)日本建築士会連合会、(公社)日本建築家協会